

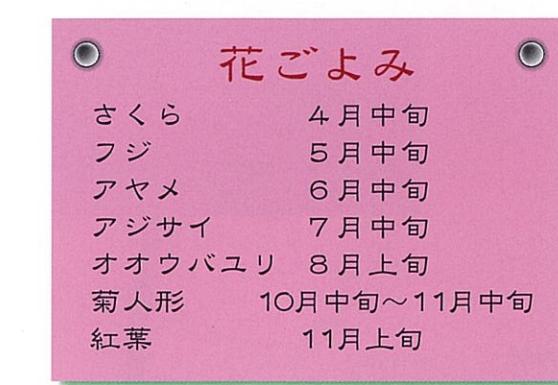
# 悠久城址内

さくら・つ、じ・もみじ：四季折々の庭園  
霞ヶ城公園が歴史の面影を映す

## 二本松城主・城代等の変遷

| 領<br>畠       | 主<br>山 | 区別   | 氏<br>名                          | 支<br>配<br>期<br>間                  |
|--------------|--------|--|---------------------------------|-----------------------------------|
|              |        |  | 満泰重<br>持村義継<br>(満盛)             | 嘉吉年間(1441~1443)<br>~天正14年(1586)7月 |
| 伊達政宗         | 城主     | 片伊達  | 景綱実                             | 天正14年(1586)7月                     |
|              |        | 石母田大柴  | 景綱義                             | ~天正18年(1590)8月                    |
| 蒲生氏郷         | 城代     | 蒲生町  | 生野繁幸                            | 天正18年(1590)8月<br>~慶長3年(1598)3月    |
| 上杉景勝         | 城代     | 秋下山  | 定山條                             | 慶長3年(1598)3月~<br>慶長6年(1601)8月     |
| 蒲生秀行<br>蒲生忠郷 | 城代     | 梅原弥山<br>本外門  | 左衛門政行<br>安良門助                   | 慶長6年(1601)8月<br>~寛永4年(1627)1月     |
| 〔幕府領〕        | 在番     | 酒井右近<br>太田原  | 太夫清                             | 寛永4年(1627)1月~2月                   |
| 加藤嘉明<br>加藤明成 | 城主     | 松下藤  | 重綱利                             | 寛永4年(1627)2月<br>~寛永18年(1641)3月    |
| 〔幕府領〕        | 在番     | 相馬義胤   | 胤                               | 寛永18年3月~寛永20年5月                   |
| 丹羽(にわ)       | 城主     | 1光重<br>2長之<br>3長<br>4高<br>5高<br>6高<br>7長貴<br>8長<br>9長富<br>10長國 | 2次延<br>4秀庸<br>6高庸祥<br>8長<br>10長 | 寛永20年(1643)8月<br>~明治1年(1868)12月   |

## 県立霞ヶ城公園絵図



11 拶手門跡

裏門。今は門台石垣と門柱礎石のみが残る。



10 少年隊の丘

明治100年の昭和43年命名。  
橋本堅太郎氏の父・彫刻家橋本高昇制作のブロンズレリーフ「二本松少年隊奮戦の図」や顕彰碑が建つ。



9 智恵子抄詩碑

「樹下の二人」「あどけない話」の一節を、伝説が残る大小一対の「牛石」に高村光太郎直筆の銅版ではめ込んでいる。周辺の円形野外劇場のイメージは詩人草野心平の提案。



8 二合田用水

光重公入府まもなく、城防備を目的に安達太良山麓より延々約18キロもの距離を城内各所に引水した用水。幕府へは内密だった。



6 霞ヶ城の傘マツ【市指定】

別称「八千代の松」といわれるアカマツの巨木で、樹齢300年を越す。



5 洗心亭【県指定】

城跡内に唯一残る江戸期の建造物で、木造力ヤ葺き・寄棟平屋造りの茶亭。当時は、「墨絵の御茶屋」といい、光重公がよく愛した。

7 土井晩翠歌碑

旧会達製糸会社の社歌を作詞した晩翠は、昭和24年に発表会のため来松。花吹雪の中を散策し、その情景を詠んだ。昭和31年建立。



12 本丸跡

室町時代は奥州探題職・畠山氏の居城。のち会津領時代に蒲生氏、加藤氏により石垣積みで築造。平成5年から約5億3千万円、2年かけ石垣の全面修築復元工事が行われた。



13 日影の井戸

千葉県印西市の「月影の井戸」、神奈川県鎌倉市の「星影の井戸」と共に日本の三井戸といわれる。

1 旧二本松藩戒石銘碑【国指定】  
藩士の戒めとするため、5代藩主高寛公が藩儒学者岩井田昨非に命じて、通用門前の自然石に刻ませた4句16文字の銘文。句は、教育資料としてまた行政の規範として価値が高いため、昭和10年に国指定。



2 二本松少年隊群像  
戊辰戦争激戦地・大壇口戦場の少年隊の奮戦姿と、わが子の出陣服を仕立てる母の姿を、日本芸術院会員・名誉市民の彫刻家橋本堅太郎氏がブロンズ制作、平成8年建立。